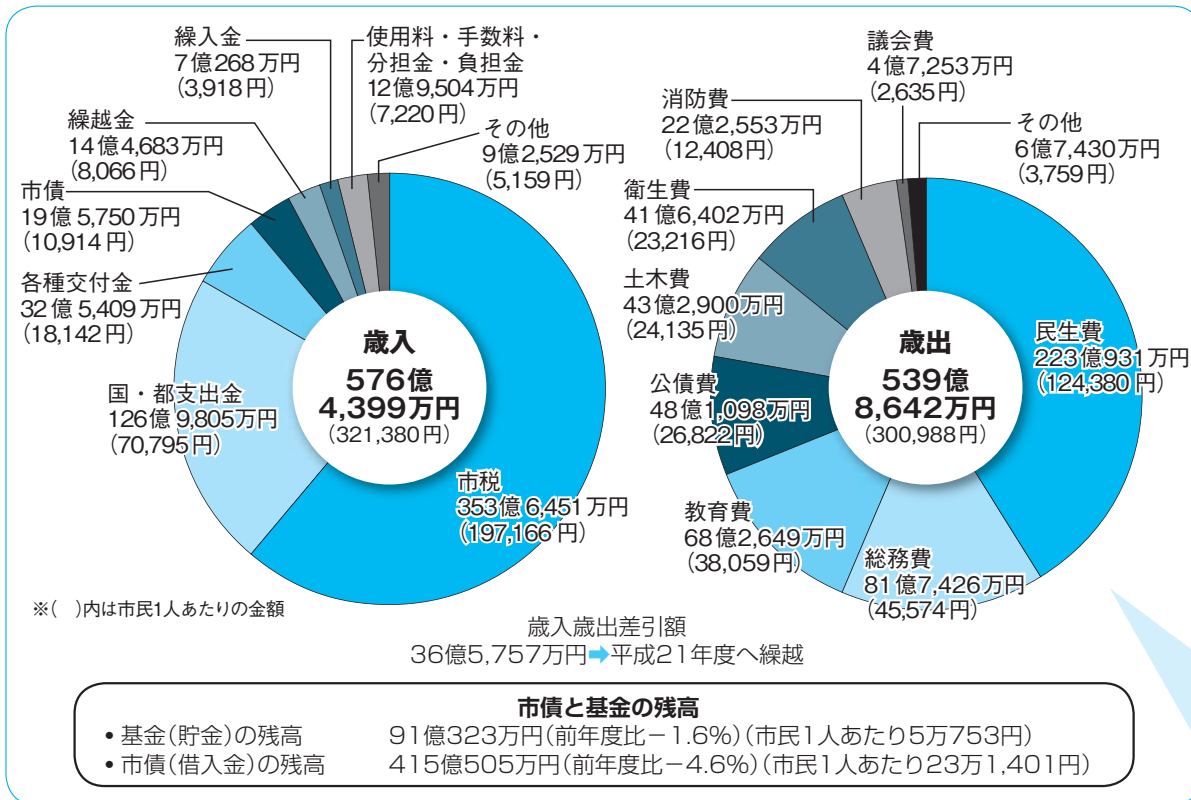


三鷹市の財政状況をお知らせします

平成20年度一般会計の歳入・歳出決算の状況



平成20年度各会計別歳入歳出決算

	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	576億4,399万円	539億8,642万円
国民健康保険事業特別会計	153億3,041万円	151億2,587万円
下水道事業特別会計	38億7,599万円	38億5,605万円
老人医療特別会計	12億4,754万円	12億 96万円
介護サービス事業特別会計	11億6,004万円	11億5,635万円
介護保険事業特別会計	88億2,863万円	87億 310万円
受託水道事業特別会計	21億3,037万円	21億3,037万円
後期高齢者医療特別会計	26億3,246万円	26億2,052万円
合計	928億4,943万円	887億7,964万円

平成20年度に実施した主な事業

平成20年度は、「高環境・高福祉のまちづくり」の実現に向けて「安全安心のまちづくり」「地域ケア推進」「都市の更新・再生」「バリアフリーのまちづくり」「子ども・子育て支援」「協働のまちづくり」「ユビキタス・コミュニティの推進」の7つのプロジェクトを最重点に取り組む課題として、各事業の展開を図りました。

平成20年度に実施した新規・拡充事業のうち、主なものは次のとおりです(金額は決算額)。

安全安心のまちづくりプロジェクト

～すべての人が心安らかに暮らせるまちづくり～

- 「東京都地域防犯モデル事業」の指定地域について、防犯対策を実施 3,378万9,535円
- 消防団詰所の耐震化整備として、第一分団詰所の建て替えに向けて実施設計を実施 241万5,000円

地域ケア推進プロジェクト

～いつまでも元気で心ゆたかに生活できる地域をめざすまちづくり～

- 新川中原地区、西部地区においても新たに地域ケアネットワークを設立 1,229万8,348円
- 国民健康保険の事業として特定健康診査・特定保健指導がスタート 1億3,533万4,896円
- 障がい者の工賃アップや勤労意欲の向上のため、「びゅあネット事業」を実施 756万1,555円

都市の更新・再生プロジェクト

～安全・快適・便利を未来につなげるまちづくり～

- 公共施設の整備・再配置などの基本方針となる「都市再生ビジョン」を策定 651万9,750円
- 中央保育園・母子生活支援施設三鷹寮について、実施設計を行い建て替え工事に着手 2億1,201万1,958円
- 鷹南学園東台小学校の建て替えに向けて、仮設校舎の使用を開始し、既存校舎の解体に着手 1億9,083万4,149円

バリアフリーのまちづくりプロジェクト

～すべての人がいきいきと暮らせるまちづくり～

- 「ベンチのあるまちづくり整備計画」に基づき、ほっとベンチを設置 975万4,500円
- 下連雀南浦地区公会堂に身体障がい者用トイレなどを設置 239万9,999円
- コミュニティ・センターなどにオストメイト対応トイレなどを整備 298万6,200円

子ども・子育て支援プロジェクト

～健やかに育ち笑顔がきらめくまちづくり～

- 「三鷹子ども憲章」を制定し、普及・啓発の取り組みを推進 65万9,447円
- 「三鷹市子育て支援ビジョン」を策定 5万8,926円
- 国立天文台旧1号宿舎の保存活用などにより、星と森と絵本の家の整備を推進 1億5,660万9,777円

協働のまちづくりプロジェクト

～ともに信頼し責任を担うまちづくり～

- 三鷹ネットワーク大学の講座を充実し、まちづくり総合研究所事業を実施 8,463万2,278円
- みたか都市観光協会のNPO法人化と観光案内所兼事務所の運営などを支援 1,625万8,894円
- NPO法人みたか市民協働ネットワークを設立し、市民協働センターの協働運営を充実 3,312万5,292円
- 花と緑のまち三鷹創造協会の設立を準備 1,838万9,408円

ユビキタス・コミュニティ推進プロジェクト

～いのち・しごと・くらしが輝くまちづくり～

- 「みたか地域SNS」を本格稼働するとともに、FAQシステムの導入に向けて検討 4,401万967円
- ICタグを活用した図書館新資料情報管理システムを導入 1,863万212円
- 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の適用範囲の対象部署を拡大 769万7,250円

基本計画における重点プロジェクト事業など

- 商店会連合会と商工会が実施する市内共通商品券事業への支援を実施 1,668万6,328円
- 粗大ごみ収集の受付と収集体制を拡充 6,563万6,359円
- 大沢総合グラウンドについて、砂入り人工芝のテニスコート(6面)の整備を実施 9,963万7,825円

平成21年度上半期の財政状況

各事業の展開

平成21年度は、「人間のあすへのまち」の扉を開くために、①まちの「安心」をもたらす施策、②まちの「活力」を高める施策、③まちの「未来」を切り開く施策の3点を基本に据えて、「第3次基本計画(第2次改定)の着実な推進と現在の社会経済状況を踏まえた適切な対応」、「行財政改革の推進と財政の健全性の維持」を市政運営の基本的な考え方として7つの最重点プロジェクトを中心に、各事業を展開しています。

市有財産の概況(平成21年9月30日現在)

平成20年度末と比較して、市有物件では、土地が279.78㎡増加、建物が4,148.86㎡減少しています。

	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	649億7,302万円	320億5,915万円	49.3%	290億7,219万円	44.7%
国民健康保険事業特別会計	164億7,251万円	67億4,435万円	40.9%	65億6,295万円	39.8%
下水道事業特別会計	40億1,316万円	16億4,708万円	41.0%	12億9,019万円	32.1%
老人医療特別会計	1,828万円	5,249万円	287.1%	239万円	13.1%
介護サービス事業特別会計	12億2,482万円	5億9,615万円	48.7%	6億 921万円	49.7%
介護保険事業特別会計	94億4,286万円	42億5,335万円	45.0%	37億2,040万円	39.4%
受託水道事業特別会計	19億 489万円	9億5,235万円	50.0%	6億4,440万円	33.8%
後期高齢者医療特別会計	30億 768万円	11億1,409万円	37.0%	9億5,770万円	31.8%
合計	1,010億5,722万円	474億1,901万円	46.9%	428億5,943万円	42.4%

土地
市有物件 / 732,455.78㎡
借用物件 / 72,535.54㎡
合計 / 804,991.32㎡

建物
市有物件 / 300,596.61㎡
借用物件 / 19,222.30㎡
合計 / 319,818.91㎡

車両
合計 / 112台
※借用車両4台を含む